

医療情報研究室

室長 岡垣篤彦

平成 23 年 12 月に病院情報システムを更新しました。当院の病院情報システムは「カード型カルテ」と呼ぶユニークな入出力インターフェースを実装していますが、これは、ベンダー製電子カルテの使い勝手を安全かつ簡易に大幅に向上する仕組みで、当院で開発されたものです。電子カルテを使用する医療スタッフの要望を大きく取込むことが出来るという特徴があります。昨年是我々の仕組みが診療の質の向上に直接貢献しているというデータを発表しました。この仕組みを有効に使用するために医療情報研究室ではいろいろな研究を行なって来ましたが、今後は各部門の要望を盛り込みつつ、「医療者が作る電子カルテ」の更なる操作性の向上を図り、医療の質の向上に貢献するシステムへと発展させていきたいと思えます。

当院の病院情報システムは一般的なベンダー製システムと比べて蓄積された医療情報を安全かつ容易に利用できるという特徴を持っており、褥瘡管理、病棟安全管理、感染情報管理などに使いやすい形に加工して供給しています。病院情報システムの膨大なデータをファイルメーカー、あるいはアクセスといった使いやすいツールに安全に転送し、一定のセキュリティーやルールを守った上で自在に分析する環境が整っています。

東北大震災以来、病院情報システムを緊急時にいかに運用するべきかという議論が盛んに行なわれています。当院は災害時の防災拠点であるため、無線 LAN 技術および仮想サーバーを使用した災害時の救急治療に貢献するシステムの研究も行なっています。

【2011 年度研究発表業績】

A-2

若宮俊司、吉田茂、岡垣篤彦他：医療現場のデータベース活用 大阪医療センターの病院情報システム-FilaMaker を用いた入出力および参照系 84-105、ファイルメーカーの特殊な使い方 p141-162
ライフサイエンス出版 東京 2011 年 6 月

A-3

岡垣篤彦、是恒之宏、中島伸、和田晃、楠岡英雄：記載インターフェースの改良による電子カルテの記載の質と診療内容の質の変化：医療情報学 Vol31 2011 No.1 37-48

A-5

岡垣篤彦、是恒之宏、楠岡英雄：診療科のニーズに基づいて高度にカスタマイズした電子カルテの記載欄およびその運用状況の分析：第 31 回医療情報学連合大会論文集 382-385

B-4

診療科のニーズに基づいて高度にカスタマイズした電子カルテの記載欄およびその運用状況の分析：第31回医療情報連合大会、鹿児島、2011年11月22日

B-8

岡垣篤彦：メディカルトラック、大阪医療センターの電子カルテ：FileMakerカンファレンス2011、東京、2011年11月10日